

平成 30 年度事業報告書

1 基本財産の造成状況

(単位：円)

区 分		金 額 (円)
行政	岩 手 県	10,000,000
	市 町 村	10,000,000
	小 計	20,000,000
民間	学校法人岩手医科大学	5,000,000
	一般社団法人岩手県医師会	5,000,000
	小 計	10,000,000
合 計		30,000,000

2 基本財産の運用状況

(単位：円)

運用先	種 別	当期末残高	基本財産 運用収入	運用実績 (年利換算)
三菱UFJモルガン スタンレー証券	利付国債(20年) (2032/6/20)	19,826,775	333,073	1.67%
三菱UFJモルガン スタンレー証券	利付国債(10年) (2020/12/20)	10,013,261	112,424	1.12%
岩手銀行雫石支店	預金	159,964	0	0.00%
合 計		30,000,000	445,497	1.48%

3 庶務事項

(1) 役員の構成

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	大 井 清 文	
副理事長	小 川 彰	学校法人岩手医科大学理事長
〃	小 原 紀 彰	一般社団法人岩手県医師会長
専務理事	八重樫 一洋	いわてリハビリテーションセンター副センター長(事)
理 事	大 槻 英 毅	岩手県医療局長
〃	佐 藤 義 朝	いわてリハビリテーションセンター副センター長(医)
〃	主 濱 了	岩手県市長会代表(滝沢市長)
〃	高 橋 昌 造	岩手県町村会代表(矢巾町長)
〃	八重樫 幸治	岩手県保健福祉部長
監 事	佐々木 政徳	公認会計士
〃	村 井 淳	岩手県市長会事務局次長

(2) 事務局の構成

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

役 職	氏 名	備 考
事務局長	五 日 市 治	業務推進部長
事務局次長	村 上 正 晃	業務推進課長(総務担当)
書 記	山 本 康 典	業務推進課長(医事担当)
〃	高 橋 正 好	業務推進課長(予算経理担当)
〃	岩 渕 鋼	主 任
〃	矢 田 森 遥 香	主 事

(3) 理事会の開催

ア 第 11 回理事会

日時 平成 30 年 6 月 1 日 (金) 13 時 30 分から

場所 北ホテル 2 階「秋桜」

議事 議案第 1 号 平成 29 年度事業報告及び収支決算案について

議案第 2 号 平成 30 年度県出資等法人運営評価について

議案第 3 号 職員就業規程の一部改正について

議案第 4 号 平成 30 年度定時評議員会の招集について

イ 第 12 回理事会

日時 平成 31 年 3 月 13 日(水)13 時 15 分から

場所 エスポワールいわて 3 階特別ホール

議事 議案第 1 号 平成 30 年度収支補正予算案について

議案第 2 号 平成 31 年度事業計画案及び収支予算案について

議案第 3 号 県出資法人に係る中期経営計画書案について

議案第 4 号 職員就業規程の一部改正について

議案第 5 号 組織規程の一部改正について

議案第 6 号 平成 30 年度臨時評議員会の招集について

(4) 評議員会の開催

ア 第 11 回評議員会

日時 平成 30 年 6 月 20 日 (水) 13 時 30 分から

場所 北ホテル 2 階「秋桜」

議事 議案第 1 号 平成 29 年度事業報告及び収支決算案について

議案第 2 号 平成 30 年度県出資等法人運営評価について

イ 第 12 回評議員会

日時 平成 31 年 3 月 27 日(水) 13 時 30 分から

場所 エスポワールいわて 3 階特別ホール

議事 議案第 1 号 平成 30 年度収支補正予算案について

議案第 2 号 平成 31 年度事業計画案及び収支予算案について

議案第 3 号 県出資法人に係る中期経営計画書案について

4 事業の実施状況

(1) リハビリテーション医療事業

A 入退院患者の状況

ア 病床利用率の状況 (単位：%)

平成 30 年度	80.7
平成 29 年度	80.9
増 減	▲0.2

イ 患者数の状況 (単位：人)

平成 29 年度末 入院患者数	平成 30 年度 入院患者数	平成 30 年度 退院患者数	平成 30 年度末 入院患者数
84	327	332	80

ウ 平均入院日数 (単位：日)

	男性	女性	合計
平成 30 年度	88.3	91.9	89.5
平成 29 年度	90.8	89.7	90.4
増 減	▲2.5	2.2	▲0.9

エ 退院先

平成 30 年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数 (人)	260	37	35	332
構成割合 (%)	78.3	11.1	10.6	100

<参考>

平成 29 年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数 (人)	245	48	28	321
構成割合 (%)	76.3	15.0	8.7	100

オ 入院患者の疾患別内訳

平成 30 年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数 (人)	209	29	62	22	5	327
構成割合 (%)	63.9	8.9	19.0	6.7	1.5	100

<参考>

平成 29 年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数 (人)	205	27	61	9	17	319
構成割合 (%)	64.3	8.5	19.1	2.8	5.3	100

カ 主な保健医療圏別患者数

平成 30 年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数 (人)	152	48	33	17	15	9	38	15	327
構成割合 (%)	46.5	14.7	10.1	5.2	4.6	2.7	11.6	4.6	100

※その他の内訳：久慈 3 人、両磐 6 人、県外 6 人

<参考>

平成 29 年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数 (人)	142	40	37	35	12	8	30	15	319
構成割合 (%)	44.5	12.6	11.6	11.0	3.7	2.5	9.4	4.7	100

※その他の内訳：久慈 4 人、両磐 6 人、県外 5 人

キ 平均年齢 (単位：歳)

平成 30 年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	60.0	64.3	61.2

<参考> (単位：歳)

平成 29 年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	62.0	62.2	62.0

B 外来患者の状況

平成 30 年度	常設診療科	非常設診療科							
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	計
患者数 (人)	4,151	682	44	125	943	226	231	0	2,251

<参考>

平成 29 年度	常設診療科	非常設診療科							
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	計
患者数 (人)	4,082	664	54	107	957	202	219	0	2,203

C 患者数の状況

ア 入院患者及び常設診療科外来患者の状況 (単位：人)

区 分		平成 30 年度	平成 29 年度	増 減	備 考
入 院	延患者数	29,447	29,518	▲71	
	1日平均患者数	80.7	80.9	▲0.2	
外 来	延患者数	4,151	4,082	69	
	1日平均患者数	17.0	16.7	0.3	

イ 非常設診療科外来患者の状況 (単位：人)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度	増 減	備 考
泌尿器科	682	664	18	
耳鼻咽喉科	44	54	▲10	
眼 科	125	107	18	
歯 科	943	957	▲14	
循環器内科	226	202	24	
糖尿病代謝内科	231	219	12	
精神科	0	0	0	休診中

D 訪問事業の状況

平成 30 年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数 (人)	42	7
延訪問回数 (回)	2,542	332

<参考>

平成 29 年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数 (人)	41	11
延訪問回数 (回)	2,434	373

E 通所事業の状況

平成 30 年度	通所リハビリ
実利用者数 (人)	6
延利用回数 (回)	276

<参考>

平成 29 年度	通所リハビリ
実利用者数 (人)	7
延利用回数 (回)	263

F 市町村等への情報提供

地域で連続して保健指導や各種のサービスが受けられ、生活の確保が出来るように支援するため、退院時診療情報提供票、退院時看護要約、機能回復療法部報告書を居宅介護支援事業所等と市町村に情報提供を行った。

平成 30 年度	133 件
平成 29 年度	148 件

(2) 地域支援事業

A 市町村支援事業

要請の市町村への支援

- ① 雫石町地域包括ケア・多職種連携会議等への出席
派遣回数 8 回、派遣職員数延 12 人
- ② 北上市地域包括ケアネットワーク研修会講師派遣
派遣回数 1 回、派遣職員数 1 人

B 地域リハビリテーション関係職員研修会

県内保健医療圏毎に地域リハビリ関係者に対し研修会を実施
開催回数 4 回、派遣職員数延 32 人 被指導者数延 132 人

C リハビリテーション情報の提供

リハビリテーション活動の紹介や最新情報を掲載した情報誌「ななつもり」を、年間 4 回ホームページ上に掲載し発信した。

D 広域支援センター支援事業

- ・地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会を 2 回開催（8 月 30 日、3 月 14 日）
- ・広域支援センター・保健所等との連絡調整、話題提供、研修会への講師派遣等
10 圏域、14 回、従事職員数延 27 人

E 介護予防研修会等

要請の市町村圏域等への支援

- ① 盛岡市介護予防講演会講師派遣
派遣回数 1 回、派遣職員数 1 人、被指導者数 264 人
- ② 紫波郡地域リハビリテーション研修会講師派遣
派遣回数 1 回、派遣職員数 1 人、被指導者数 79 人
- ③ 北上市地域リハビリテーション報告会講師派遣
派遣回数 1 回、派遣職員数 1 人、被指導者数 79 人
- ④ 岩手県認知症高齢者グループホーム協会・いわて小規模多機能型居宅介護事業所協会実践報告会コメンテーター派遣
派遣回数 1 回、派遣職員数 1 人、被指導者数 200 人
- ⑤ 岩手県身体障がい者地域リハビリテーション関係職員合同研修会講師派遣
派遣回数 1 回、派遣職員数 4 人、被指導者数 36 人

F 高次脳機能障害者支援普及事業

県内の支援拠点機関としての支援体制の整備を図り、専門的な相談支援及びサービスを提供

- ・相談支援コーディネーター 4 名及び地域支援コーディネーター 4 名を配置し、専門的な相談支援及び関係機関との連絡調整を行った。
相談件数延べ 1,166 件、実人数 110 名
- ・支援ネットワーク構築のための連絡協議会の開催
2 回開催、出席者数延べ 53 名
- ・具体的な支援手法の検討を行うためのワーキンググループの開催
1 回開催、出席者数延べ 14 名

- ・支援の普及に向けた研修会の開催
4回開催、参加者数延べ249名
- ・普及啓発を目的に当時者・家族を中心とした交流会を開催
1回開催、参加者数延べ86名
- ・地域における支援体制整備のための支援
県内8圏域の地域拠点機関と協働し、地域支援体制の整備を図った。
- ・事業周知のためのPR・広報活動の実施
ホームページやメールニュースを通じて理解と支援の拡大を図った。

G 被災地高齢者リハビリテーション支援事業

各関係機関と連携し被災地支援活動を行った。

- ・支援回数21回、従事職員数延82人、被支援者数延263人

H シルバーリハビリ体操指導者養成事業

13市町村に対し、高齢者を対象に体操指導者を養成し、地域住民が運営する介護予防及び通いの場づくり等の円滑な実施の支援を行った。

- ・1級指導者養成講習会（4日間）
開催回数1回、従事職員数延45人、養成数12人
- ・2級指導者養成講習会（4日間）
開催回数3回、従事職員数延66人、養成数58人
- ・3級指導者養成講習会（6日間）
開催回数4回、従事職員数延86人、養成数80人
- ・フォローアップ、通いの場評価等
開催回数12回、従事職員数延23人、被指導者数429人
- ・指導者養成事業に係る講演会及び指導者交流会
開催回数1回、従事職員数11人、参加者数187人
- ・1級指導者懇談会
開催回数1回、従事職員数1人、参加者数12人

I 補装具相談会の開催（岩手県福祉総合相談センターからの依頼事業）

①巡回相談

担当医師名	相談回数 (開催地)	補装具相談件数（非該当を除く）						計
		義手	義足	装具	車椅子	座位保持装置	その他	
村上英恵	5回(宮古市、二戸市、奥州市、久慈市)	6件	47件	108件	13件	3件	0件	177件
阿部深雪	5回(宮古市、二戸市、奥州市、久慈市)	3件	36件	70件	5件	1件	0件	115件
計	10回	9件	83件	178件	18件	4件	0件	292件

②来所相談

担当医師名	相談回数 (開催地)	補装具相談件数（非該当を除く）						計
		義手	義足	装具	車椅子	座位保持装置	その他	
佐藤義朝	12回(盛岡市：岩手県福祉総合相談センター)	9件	102件	85件	40件	7件	1件	244件

(3) 教育研修事業

A 保健福祉等高齢者施設職員対象研修会

- ・呼吸リハビリテーション研修会（1日間） 開催回数1回、受講者数22人

・高齢者保健福祉施設リハビリテーション研修会（2日間） 開催回数1回、受講者数延58人

B 患者家族教室

お口元気教室、医師講話会、リハビリ教室、栄養教室 開催回数44回、参加者数延392人

C 学生受け入れ

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の学生受け入れ
延20校、実253人(延1, 282人)

D リハビリテーションセンター体験学習

ふれあい看護体験 2回、25人、インターンシップ 6回、9人

F 講師派遣

学生講義、施設職員対象研修等 34回、受講者数延2, 252人

G 院内職員研修会

開催回数11回、参加者数延860人（うちDVD受講220人）

①5月30日 テーマ「医療安全①～一次救命処置について」

講師 診療科長 森潔史

②7月30日 テーマ「メンタルヘルス研修会～医療現場におけるメンタルヘルスの現状と対策の事例」

講師 岩手医科大学神経精神科学講座 教授 大塚耕太郎

③8月29日 テーマ「医療安全②～すべての職員が知っておくべき『医療安全基礎知識』」

講師 理学療法科長 佐藤英雄、看護師長 齊藤由利子、主任看護師 川崎美香子

④9月26日 テーマ「管理の必要な薬品の取り扱いについて、院内感染①～手指衛生と感染対策」

講師 薬剤師 伊藤禎人、臨床検査技師 川村将史

⑤9月27日 多職種研修会① テーマ「メンバーシップ・リーダーシップについて」

司会 多職種研修会実行委員会

⑥10月25日 多職種研修会② テーマ「メンバーシップ・リーダーシップについて」

司会 多職種研修会実行委員会

⑦10月31日 テーマ「医療安全③～『院内ガスについて』、『院内暴力について』」

講師 太陽日酸株式会社 千葉氏、看護部外来看護師長 齊藤由利子

⑧11月28日 テーマ「在宅における褥瘡ケア」

講師 岩手県立中央病院 皮膚排泄ケア認定看護師 小野寺喜代

⑨12月26日 テーマ「院内感染②感染対策～インフルエンザ・ノロウイルスを中心に」

講師 岩手県立病院 感染管理認定看護師 外館善裕

⑩12月27日 テーマ「個人情報の保護について」

講師 業務推進部 業務推進課長 山本康典

⑪3月27日 テーマ「臨床倫理について～倫理的ジレンマの基礎と対応」

講師 岩手医科大学附属病院 高度看護研修センター
緩和ケア認定看護師教育課程 専任教員 伊藤奈央

※3月13日 テーマ「接遇について」H29年度患者満足度調査結果をサイボウズで配信し共有

H 普及啓発

①視察者に対するリハビリテーションの普及啓発

民間団体等のセンター視察対応

平成30年度 2団体、38人

※平成5年10月～平成31年3月累計 延べ863団体、16,612人

②いわてリハビリテーションフォーラム

一般県民に対するリハビリテーションの普及啓発

開催日 平成30年10月21日（日） 場所 アイーナ 来場者数 214人

(4) 調査研究事業

医学的リハビリテーション技術の向上と障害者の福祉の向上を図るため、調査研究事業を行っている。

研究内容

A 平成30年度研究発表業績

ア診療部

医局

1. 3次元舌力測定器を利用した、視神経脊髄炎の嚥下障害に対する舌運動機能評価
第9回日本ニューロリハビリテーション学会 岩手県盛岡市 2018年5月12日
いわてリハビリテーションセンター 診療部○佐藤義朝、大井清文
言語聴覚療法部 阿部信之
岩手大学大学院 工学研究科 佐々木将瑛、鎌田勝裕
岩手大学大学院 総合科学研究科 佐々木誠
一関工業高等専門学校 未来創造工学科 中山淳
2. 重度の嚥下障害を伴う神経変性疾患に対し、局麻下声門閉鎖術を実施しQOLが改善した2例
第55回日本リハビリテーション医学会学術集会 福岡県福岡市 2018年6月29日
いわてリハビリテーションセンター 診療部○佐藤義朝、森 潔史、大井清文、村上英恵、村田深雪
3. 岩手県シルバーリハビリテーション体操指導者養成事業の取組みについて
第55回日本リハビリテーション医学会学術集会 福岡県福岡市 2018年6月29日
いわてリハビリテーションセンター 診療部○大井清文、佐藤義朝、森 潔史、村上英恵、村田深雪
4. バルーン法におけるダブルバルーンと尿道バルーン使用法の一考察 ～延髄外側梗塞の一症例～
第44回日本リハビリテーション医学会東北地方会 岩手県盛岡市 2018年9月1日
いわてリハビリテーションセンター 診療部○佐藤義朝、森潔史、阿部深雪、村上英恵、大井清文
岩手医科大学 リハビリテーション医学科 西村行秀
5. 岩手県における摂食嚥下に関する地域連携の課題～当センターでの研修事業と摂食嚥下外来の活動報告から～
第24回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 宮城県仙台市 2018年9月8日
いわてリハビリテーションセンター 診療部○佐藤義朝
6. 当センター回復期リハビリ棟におけるクロストリジウム抗原陽性例の患者背景
第2回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 宮城県仙台市 2018年11月3日
いわてリハビリテーションセンター 診療部○佐藤義朝、森 潔史、阿部深雪、村上英恵、大井清文
岩手医科大学附属病院・リハビリテーション医学科 西村行秀
7. 当センターにおける高次脳機能障害者の運転再開について
第44回日本リハビリテーション医学会東北地方会 岩手県盛岡市 2018年9月1日
～岩手県公安委員会(岩手県免許センター)との協議も含めて～
いわてリハビリテーションセンター 診療部○大井清文、阿部深雪、佐藤義朝、森潔史、村上英恵
岩手医科大学 リハビリテーション医学科 西村行秀
8. 3次元舌力測定器を用いたバイオフィードバック訓練の基礎検討
第3回岩手神経内科症例研究会 岩手県盛岡市 2018年7月21日
いわてリハビリテーションセンター 診療部○佐藤義朝、森潔史、大井清文
9. スモンのリハビリテーション
平成30年度スモンの集い 宮城県仙台市 2018年10月6日
いわてリハビリテーションセンター 診療部○佐藤義朝
10. 高次脳機能障害者の運転再開と再開後の実態調査
平成30年度岩手医科大学神経内科研究業績報告会 岩手県盛岡市 2018年12月8日
いわてリハビリテーションセンター 診療部○大井清文、佐藤義朝、森潔史
11. 失語症患者の自動車運転再開に際し、実車評価が有用だった2症例
第45回日本リハビリテーション医学会東北地方会 宮城県仙台市 2019年3月9日
いわてリハビリテーションセンター 診療部○佐藤義朝、森潔史、阿部深雪、村上英恵、大井清文
岩手医科大学 リハビリテーション医学科 西村行秀

栄養管理科

- 1 2. 回復期リハビリ病棟の重度嚥下障害患者における退院時経口摂取能力と栄養・運動機能因子との関連
第 24 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 宮城県仙台市 2019 年 9 月 8 日～9 日
栄養管理科 ○高橋静恵、診療部 佐藤義朝
- 1 3. 重度嚥下障害患者における退院時の経口摂取能力と入退院時の血清アルブミン値および FIM との関係
回復期リハビリテーション病棟協会第 33 回研究大会 in 舞浜・千葉 千葉県舞浜市 2019 年 2 月 21 日～22 日
栄養管理科 ○高橋静恵、藤原彩花 診療部 佐藤義朝、大井清文

イ 看護部

- 1 4. 回復期リハ認定看護師とセラピストマネージャーによる職員育成
リハビリテーション・ケア合同研究大会 in 米子 2018 鳥取県米子市 2018 年 10 月 3～4 日
○上斗米律子、佐藤英雄、大井清文
- 1 5. 看護師が同行できない退院前家庭訪問でのワークシートによる情報伝達効果による検討
回復期リハビリテーション病棟協会第 33 回研究大会 in 舞浜・千葉 千葉県舞浜市 2019 年 2 月 21 日～22 日
○鈴木桃李、下野心、上斗米律子、大井清文
- 1 6. 多職種で支援して強迫性障害を抱える脊髄損傷患者が集合住宅 2 階への自宅退院が可能となった 1 例
回復期リハビリテーション病棟協会第 33 回研究大会 in 舞浜・千葉 千葉県舞浜市 2019 年 2 月 21 日～22 日
○吉田奈央、佐藤弘樹、浦沢さき、村田美歩、青山美音、上斗米律子、村上英恵、大井清文
- 1 7. 回復期リハビリ病棟における患者参加型カンファレンスの効果
回復期リハビリテーション病棟協会第 33 回研究大会 in 舞浜・千葉 千葉県舞浜市 2019 年 2 月 21 日～22 日
○西館初美、竹村昌子、米澤直子、古館郁子、大井清文

ウ 医療連携部

総合相談科

- 1 8. 就労意向のある方への支援に関する研究 当センターを退院した 7 名の語りから MSW の役割を考察する
岩手県社会福祉士会・実践研究発表会 盛岡市 2019 年 2 月 16 日
○後藤敦博、上田大介、阿部泰子、青山美音、石鉢みづほ、巢内洋肇

エ 機能回復療法部

理学療法科

- 1 9. 脊髄梗塞による左下肢単麻痺を呈した症例に対して BWSTT を施行した一症例
～操作交代デザインを用いた身体機能と ADL 能力に対して BWSTT が及ぼす影響～
第 9 回日本ニューロリハビリテーション学会 岩手県盛岡市 2018 年 5 月 12 日
○佐藤弘樹、関公輔
- 2 0. 脊髄損傷により片側性完全対麻痺を呈しロフトストランドクラッチと長下肢装具を 使用して歩行が自立した症例 ～自宅アパートの 2 階への退院を目指して～
第 36 回東北理学療法学会学術大会 青森県青森市 2018 年 11 月 3 日～4 日
○佐藤弘樹、関公輔
- 2 1. 脊髄損傷対麻痺患者における四つ這い移動能力が歩行自立の可否に与える要因分析
～2 症例を対象とした三次元動作解析装置による生体力学的指標を用いた動作分析的検討～
第 16 回神経理学療法学会学術大会 大阪府大阪市 2018 年 11 月 10 日～11 日
○佐藤弘樹、小野寺一也、関公輔

22. 脊髄損傷対麻痺患者における四つ這い移動時の胸郭および骨盤の回旋角度は動作分析の重要な一指標となり得るか？ ～健常者1名と症例3名による三次元動作解析装置を用いた運動学的検討～
第23回基礎理学療法学会 京都府 2018年12月15日～16日
○佐藤弘樹、小野寺一也、関公輔
23. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業による指導者養成と指導者の活動の拡がりについて
リハビリテーション・ケア合同研究大会 米子 2018 鳥取県 2018年10月3日～4日
○佐藤英雄、渡部祐介、照井恵利香、石川美弥子、八重樫一洋、大井清文
24. 再燃を繰り返す多発性硬化症患者に対して、歩行練習用体重免荷装置を使用した経験
～歩行能力、姿勢に着目して～
第20回岩手県理学療法学会 岩手県盛岡市 2018年10月7日
○江口舞人、小野寺一也、関公輔
25. 脳血管疾患患者における歩行速度への関連因子
第20回岩手県理学療法学会 岩手県盛岡市 2018年10月7日
○佐々木大将、関公輔、山下浩樹、小野寺一也、千葉終兵
26. 脳卒中片麻痺患者の歩行障害に対し足関節底屈筋群へのトレーニングと歩行立脚後期の部分練習を実施し歩行能力の向上を認めた一症例
第20回岩手県理学療法学会 岩手県盛岡市 2018年10月7日
○工藤寛智、佐藤弘樹、小野寺一也、関公輔
27. 部分免荷歩行器を使用した練習により独歩自立となったギランバレー症候群患者
第20回岩手県理学療法学会 岩手県盛岡市 2018年10月7日
○青山祐、小野寺一也
28. 当センター回復期病棟に入棟した脳卒中患者における杖の種類と歩行速度の関係
第20回岩手県理学療法学会 岩手県盛岡市 2018年10月7日
○千葉終兵、佐々木大将、山下浩樹、関公輔
29. 回復期リハビリテーション病棟における多発性硬化症に対する理学療法の一考察
回復期リハビリテーション病棟協会第33回研究大会 in 舞浜・千葉 千葉県舞浜市 2019年2月21～22日
○内藤里歩 中村一葉 佐藤義朝
30. 療法士の介助付き転倒の発生状況と転倒要因の分析
回復期リハビリテーション病棟協会第33回研究大会 in 舞浜・千葉 千葉県舞浜市 2019年2月21～22日
○高山僚平、佐藤英雄、大井清文
31. 回復期病棟入棟時における端座位保持の可否と退院時FIM運動項目得点の関係
第20回岩手県理学療法学会 岩手県盛岡市 2018年10月7日
○小野寺一也
32. 回復期病棟入院3ヶ月後のFIM運動項目得点予測式の検討～実績指数の除外条件を考慮して～
回復期リハビリテーション病棟協会第33回研究大会 in 舞浜・千葉 千葉県舞浜市 2019年2月21～22日
○山下浩樹、小山田彩未、関公輔、山本晶子、大井清文
33. 脳卒中片麻痺患者が安全に入浴するための短下肢装具の検討
第36回東北理学療法学会 青森県青森市 2018年11月3日～4日
○芦埜菜津子、佐藤弘樹、関公輔
34. 当センターにおける下肢切断者の理学療法実績と片側大腿切断者の歩行自立度に関わる因子
第36回東北理学療法学会 青森県青森市 2018年11月3日～4日
○村上敏昭、山下浩樹、佐藤英雄
35. 下垂足に対しAFOの使用により歩行機能の改善を認めた大腿骨骨幹部骨折術後の一症例 - AFOの違いが歩行機能に与える効果の運動学的検証 -
第6回日本運動器理学療法学会 福岡県福岡市 2018年12月14日～16日
○村上敏昭、佐藤弘樹、小野寺一也、関公輔

作業療法科

36. 生活背景を基に活動拡大が図れた症例
第28回東北作業療法学会 秋田県秋田市 2018年6月23～24日
○石川侑利奈 大久保訓

37. リアルタイムでの介入で ADL 向上につながった事例
第 28 回東北作業療法学会 秋田県秋田市 2018 年 6 月 23～24 日
○遠藤梢、渡部祐介
38. MTDLP を用いた生活目標の早期合意と多職種連携により、復職への支援ができた事例
第 52 回日本作業療法学会 愛知県名古屋市 2018 年 9 月 8 日～9 日
○照井恵利香、山本晶子、佐藤義朝、大井清文
39. また2人で暮らしたい・同時期に脳血管障害を発症した夫婦の自宅生活支援について
第 52 回日本作業療法学会 愛知県名古屋市 2018 年 9 月 8 日～9 日
○川畑智代、山本晶子、鷹觜悦子
40. 頸部損傷四肢麻痺者の社会参加向上に向けた取り組み・自助具の作成を通して
第 52 回日本作業療法学会 愛知県名古屋市 2018 年 9 月 8 日～9 日
○吉田健、山本晶子
41. 岩手県シルバーリハビリ体操 1 級指導者養成の取り組みについて
リハビリテーション・ケア合同研究大会 鳥取県米子市 2018 年 10 月 3 日～4 日
○渡部祐介、村上敏昭、渡辺幸太郎、山崎麻友、照井恵利香、佐藤英雄、石川美弥子
八重樫一洋、大井清文
42. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業推進に向けた地域のリハ専門職との連携の現状と問題
リハビリテーション・ケア合同研究大会 鳥取県米子市 2018 年 10 月 3 日～4 日
○照井恵利香、渡部祐介、佐藤英雄、石川美弥子、八重樫一洋、大井清文
43. 母指 CM 関節掌側外転保持装具使用下で集中訓練を行い調理動作が可能になった症例
第 32 回岩手県作業療法学会 岩手県九戸郡洋野町 2018 年 11 月 18 日
○千葉聖矢、小笠原未久、山本晶子
44. 「いわてリハビリテーションセンターにおける自動車運転再開支援班の活動報告」
第 32 回岩手県作業療法学会 岩手県九戸郡洋野町 2018 年 11 月 18 日
○大久保訓、小笠原未久、石川侑利奈、阿部深雪、大井清文
45. 自動車運転再開支援を行った患者の追跡調査
第 3 回日本安全運転・医療研究会 東京 2019 年 1 月 27 日
○石川侑利奈、小笠原未久、大久保訓、阿部深雪、大井清文
46. 岩手県シルバーリハビリ体操 1 級指導者養成の取り組みについて
平成 30 年度第 31 回岩手県保健福祉環境行政セミナー 盛岡市 2019 年 2 月 8 日
○渡部祐介、村上敏昭、渡辺幸太郎、山崎麻友、照井恵利香、佐藤英雄、石川美弥子
八重樫一洋、大井清文
47. 病前の活動・興味を知るための取り組み-FAI、興味関心チェックシート活用の促しから-
回復期リハビリテーション病棟協会第 33 回研究大会 in 舞浜・千葉 千葉県舞浜市 2019 年 2 月 21
～22 日
○鷹觜悦子、長山悦子
48. 当センターにおける自動車運転再開支援を行った患者への追跡調査(第一報)
回復期リハビリテーション病棟協会第 33 回研究大会 in 舞浜・千葉 千葉県舞浜市 2019 年 2 月 21
～22 日
○小笠原未久、石川侑利奈、大久保訓、阿部深雪、大井清文
49. 「岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業 2 級講習会」における取組について
回復期リハビリテーション病棟協会第 33 回研究大会 in 舞浜・千葉 千葉県舞浜市 2019 年 2 月 21
～22 日
○山崎麻友、村上敏昭、渡辺幸太郎、照井恵利香、渡部祐介、佐藤英雄、石川美弥子
八重樫一洋、大井清文

言語聴覚療法科

50. 3 次元舌力測定器を用いたバイオフィードバック訓練のための基礎検討
第 19 回言語聴覚学会 富山県 2019 年 6 月 22 日～23 日
○阿部信之、外下育美、後藤理佳子、渡部小麦、高橋志帆、佐藤義朝、大井清文
岩手大学 大学院工学研究科 佐々木将瑛、佐々木誠

臨床心理科

- 5 1. 高次脳機能障がい者支援ツール「日々ノート」有効性についての一考察
平成 30 年度第 31 回保健福祉環境行政セミナー 岩手県盛岡市 2019 年 2 月 8 日
○吉田賢史、阿部深雪、八重樫一洋、上田大介、石鉢みづほ、後藤敦博、村上敏昭

B 院内研究発表会

院内職員の研究への意識付けや理解のために毎年、年 2 回実施している。

ア 第 49 回院内研究発表会 2018 年 7 月 11 日 17:30~18:30

1. 退院前家屋調査訪問への看護師の同行意義に関する調査
看護部○鈴木桃李、上斗米律子、後藤由美 機能回復療法 部高橋徹、佐藤弘樹
診療部 大井清文
2. リアルタイムでの介入で ADL 向上につながった事例
作業療法科 ○遠藤梢 渡部祐介
3. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成講習会における療法士の役割について
地域支援部 ○村上敏昭、渡辺幸太郎、照井恵利香、渡部祐介、佐藤英雄、大井清文
4. 3次元舌力測定器を用いたバイオフィードバック訓練の基礎検討
診療部○佐藤義朝、大井清文
機能回復療法部 阿部信之、外下育美、後藤理佳子、渡部小麦、高橋志帆

イ 第 50 回院内研究発表会 2019 年 3 月 6 日 17:30~18:30

1. 回復期リハビリ病棟における患者参加型カンファレンスの効果
看護部○西舘初美、竹村昌子、米澤直子、古舘郁子 診療部 大井清文
2. 当センターにおける自動車運転再開支援を行った患者への追跡調査
作業療法科○小笠原未久、石川侑利奈、大久保訓 診療部 大井清文
3. 療法士の介助付き転倒の発生状況と転倒要因の分析
理学療法科○高山僚平、佐藤英雄 診療部 大井清文
4. 重度嚥下障害患者における退院時の経口摂取能力と入退院時の血清アルブミン値およびFIMとの関係
診療部○高橋静恵、藤原彩花、佐藤義朝、大井 清文

C データベース構築及び運用（予後予測システムの構築）

- ア データベースソフトの構築
イ データベース入力手順の取り決め及び運用
ウ データベース入力（約 4537 症例）
エ 予後予測式の作成および精度の検討

D 動作解析装置運用に関して

動作解析装置の臨床応用を可能にし、より客観的なデータを示すことにより、リハ医療のエビデンスを構築する。そのために十分に器機やデータ分析の方法を理解する必要がある。
国際医療福祉大学大学院教授山本澄子先生を 4 回招聘し指導を受ける。
(2018 年 6 月 1 日、9 月 6 日、12 月 7 日、2019 年 2 月 27 日)

- ア 機器の精度の検討
イ 測定法、データ分析の指導を受ける（片麻痺患者の運動解析、健常者における運動機能分析）
ウ 健常者、患者の動作計測
エ 学会等で発表
オ センター職員への教育

E 研究開発部からの派遣

県外で行われている、イベントや研修会に参加し最新の知識を吸収し、研究や臨床、県内専門職への情報提供に生かしていく。

- ・第 45 回国際福祉機器展 2018 年 10 月 10 日~12 日（東京）
理学療法科 高山 僚平、作業療法科 阿部 栞

F 研究開発部センター内情報発信活動

ア 研究開発部マガジン（2回／月、院内向け）No. 290～310 発行

イ これってな～に??（1回／月 院内向け）No. 76～98 発行

院内向けに、最新の研究や学会情報などを発信し、研究活動に活かしてもらおう。

- ・ホームページの紹介
- ・リハニュース 福祉機器の紹介
- ・トピックス
- ・学会、研修会情報
- ・研究発表演題の紹介

G 研究活動の支援

ア 文献検索システムの管理、運営、マニュアル作成

イ 動画編集システムの管理、運営

ウ 統計処理のアドバイス

エ 統計勉強会

H 現在進行中の研究

臨床の中で継続的に検討しているものも含めて、下記のような継続研究テーマを持っている。

ア 脳血管障害者、頭部外傷者における高次脳機能障害の評価に関する基礎研究

イ モーターコントロール（運動制御）に関する基礎研究

ウ 四肢切断者に関する義手、義足の適合に関する検討

エ C I 療法に関する研究

オ 嚥下障害に関する基礎研究（VF 検査も含む）

カ 福祉用具、福祉機器に関する調査、研究

キ 脳卒中片麻痺患者の動作分析

ク 脳卒中片麻痺患者の機能回復に関する予後予測

コ 失語症者における聴覚機能に関する研究

サ 車いすシーティングにおける基礎的研究

I その他

ア いわて医療機器事業化研究会研修会参加、協力

イ 先進医療機器等開発プロジェクトへの協力

ウ リハビリテーションの提供に関わる総合的な調査研究（リハビリテーション医学会）

エ 戦略的研究開発推進事業研究実施プロジェクトへの参加・協働研究

オ 県立大学と共同研究 ①失語症と聴覚機能の評価

カ データベース構築に関するシステム開発